

全日本アマ本因坊学生

大関さん(商2)アマチュア囲碁のトップに



全日本アマ本因坊決定戦で表彰される大関さん(写真提供・毎日新聞社)

「目標を一つ一つ達成できて、うれしい」。アマチュア囲碁の頂点に立った大関さん(商2)は喜びを素直に表した。東京・日本棋院で行われた第60回日本学生本因坊決定戦(毎日新聞社、全日本学生囲碁連盟主催、8月6〜7日)で初の学生本因坊に。その勢いのまま第62回全日本アマチュア本因坊決定戦全大会(毎日新聞社、日本棋院主催、8月20〜21日)で初優勝を挙げた。アマ本因坊と学生本因坊両方の同時制覇は史上2人目。在学中がアマ本因坊になるのは専修大学が始まって以来の快挙だ。昨今の学生囲碁界はレベルアップが著しく、層も厚くなり学生本因坊戦は優勝候補が目白押しの中を戦った。専大入学前はプロを目指し日本棋院の院生として励んだ大関さん。「その時代をともに過ごした仲間が、今は大学生になり好敵手になっています」

昨年大関さんは、学生十傑、学生王座、学生世界王座を制した。元タイトルホルダーのプロ、王立誠九段を破る大金星を挙げている。主要学生棋戦の中で学生本因坊だけが準優勝で、なんとこれも取りたいタイトルだった。

続くアマ本因坊戦ではタイトルを「狙っていません」という。若手が台頭し、出場64人中、大学生は8人。10代、20代が33人と半数以上を占めた。大関さんは、準決勝で同じ神奈川出身の日大生

を退け、「緊張した」という決勝戦では過去に入賞歴のある34歳の強豪を接戦の末、打ち破った。「戦を担いで」主要棋戦は常にスツ・ネクタイ姿で挑んできた。学生

高校生のための経営学実践講座



アイデアをまとめ、分かりやすく発表した

身近なファストフードを題材に、高校生に「経営」を体験してもらおう夏休み恒例の公開講座「第11回高校生のための経営学実践講座」(協力・㈱モスフードサービス)が8月7日、生田キャンパスで開かれた。東京都や神奈川、千葉、埼玉、山梨、静岡の各県から過去最多の65人が集合。フレッシュなアイデアが披露された。8チームに分かれ、高校生を増やすための

転ずしなどの仮想ライブル店から「どうすれば客を奪えるか」をテーマに知恵をしぼった。約2時間半後、高校生たちは「大人数でシェアできるビッグなバーガー」に「勉強コーナー」を設け、集中しやすいアルファ波の音楽を流すなど独自のアイデアを披露。「ハンバーガーの野菜の量を調節してお安くできます」とアピールし会場を沸かせたチームが、モス社の「ベストパフォーマンス賞」を獲得した。専大賞1位は、ハンバーガーのサイズの多様化やスマートフォン充電コード貸し出しなどを提案したチーム。一昨年も参加した岡本泉さん(川崎商高3年)がリーダーシップを発揮しモス社の「ベストコンセプト賞」も受賞した。司会の間嶋崇教授からは「経営戦略」や「競争戦略」について解説もあつた。高1の参加者は「学



昨夏ラオスでの海外特別研修で右から3人目が奈良さん

インドネシアで活動

日本語パートナーズ 奈良さん(経済3)

東南アジアの中学・高校で日本語教師のアシスタントをする「日本語パートナーズ」として、奈良さん(経済3)が9月から6カ月間、インドネシアで活動する。奈良さんは「現地の高校生と交流したい」と胸を膨らませる。

「日本語パートナーズ」のことは、昨年度受講した国際経済学科の専門科目「海外特別研修」で担当の飯沼健子教授から聞き興味を持った。経験や資

「と確信した。それまでフィリピン、マレーシアを旅行したことはあるが、研修で東南アジアへの関心が一層深まった。赴任先は西スマトラ州のパダンの高校に決まり、派遣前研修でインドネシア語の特訓を受けた。親日国のインドネシアの日本語学習者は約87万人。世界で中国に次いで日本語学習者が多い。

「アニメ、マンガといったサブカルチャーなど現代の日本の文化や、等身大の日本の大学生の姿を伝えたい。高校生とは年齢も近いので友だちのような存在になりたい」と奈良さん。伝統舞踊、音楽などインドネシアの文化に触れることも楽しみにしている。

ワンダー・チームメイトチア教室など実施



「スタッツ」を体験=7月30日、チアリーディング教室

体育会の地域貢献活動「ワンダー・チームメイト」が生田キャンパスを中心に開催されている。今年は23種目30教室を実施。参加した小中高生

らには、体育会の部員たちと一緒にスポーツの楽しさを体感した。残りは2教室で、11月に居合道教室と乗馬教室が行われる。

最新の花粉症治療



健康フラッシュ

花粉が飛散してから治療を開始すると、アレルギーとの接触量が増えすぎてしまうことかまっています。舌下免疫療法とは、アレルギーの原因物質(アレルゲン)を含むエキスを舌下に投与し、体内に吸収させることでアレルギー反応を弱めていく治療法です。注射の痛みや通院の必要がないのが特徴です。

1年次生が活躍

専大勢活躍 第28回東京都杖道大会(東京都剣道連盟主催、東京都(など後援)が7月9日、東京・足立区の東京武蔵道会は一級以下の部で優勝と準優勝を挙げるなど1年次生の活躍が目立ったほか、五段と二段の部で準優勝となった。



手前が優勝の島村・齋藤組、右奥が準優勝の武藤・佐伯組

2016年神田鳳祭

▽10月8日(土)・9日(日) 神田キャンパス

▽11月3日(木祝)・6日(日) 生田キャンパス

創設137年鳳祭

▽11月3日(木祝)・6日(日) 生田キャンパス